

### 令和 5 年 8 月 26 日 定例作業 畑の虫の観察会の報告をします。

8/26（土）いただきますの森 定例作業と畑の虫の観察会について報告をします。

定例作業は 8 時半からスタートし、畑の虫の観察会は 10 時からスタートしました。

当日は晴天で時々雲も広がりましたが、ジリジリと気温も高くたまに吹く風に癒されながら、所々で水分休憩をしながら作業を行いました。

いただきますの森の定例会に参加された方の人数は約大人 15 人、子ども 6 人で、畑の虫の観察会に参加された方は欠席された方もあり約大人 4 名、子ども 4 名でした。

いただきますの森の作業としては、花壇の整備、大豆周りや果樹周り、畑周りの草刈り、果樹の剪定、主に子どもたちが中心となりひまわりの種とり、虫探し等を行いました。

はじめに運営メンバーより当日の作業について説明をし、10 時から虫の観察会をするので、その時間帯は虫の観察会に参加しても良いし、そのまま作業を続けても良いし、やりたい作業を行って頂きました。

いただきますの森では、夏の暑さに負けず土寄せ効果もあり、大豆がすくすくと成長をしていて、紫の小さい花をつけていました。大豆の草刈り作業では大きく育った大豆の日陰の中の作業でした。ほんの少しの日陰でも癒されました。土寄せの仕方により草の生え方に違いがあるように思いました。その横には小豆が順調に成長をしていました。

果樹のブルーベリーの木が夏の暑さでカラカラになっていました。果樹の知識がある方はぜひ剪定等お力を貸して下さい。

花壇ではホーリーバジルが元気に咲き、花の周りをミツバチが飛ぶ姿が見られました。ミツバチの大事な蜜源になっています。ひまわりは首をもたげ咲き終わりでしたが、莖の横から小さなひまわりを咲かせているものもありました。

コスモスの花が咲き始めました。畑は夏の草の勢いがすごく草に作物が覆われていました。

いただきますの森に参加している子どもたちは虫の観察会前にも虫探しをして捕まえる姿がありました。

ほうきもろこしは 8 月に収穫をし、3 日間天日干しをして、穂を脱穀しました。収穫したほうきもろこしの量はほうきにするにはまだまだ少ない量でしたが、無事に育ちました。



いただきますの森に参加されている方からウッドチップの道作りについてご提案頂き、道になる所の草刈りやウッドチップの敷き均しを運営メンバーや市の職員で行いました。草刈りをした上にウッドチップを敷均しましたが、草の勢いが強くチップを敷いた下からまだまだ草が出てきてしまっています。小麦のワラ等をまた上に敷いていきたいと思えます。

いただきますの活動は参加されている皆さんが主役です。いただきますの森という場をみんなで創り上げていき、居心地の良い場、楽しめる場に出来たらと思えます。

どのようにしたらもっと良くなるか、自分も周りも居心地が良く楽しめる場になるかを考えながら創り上げられたら素敵ですね。もっとこうしたら良くなる等ご意見があれば運営メンバーにお声をかけて下さい。

暑い中ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

ぜひこれからも一緒に活動を盛り上げて頂き、この場を皆さんと楽しめたらと思っています。

10時からの畑の虫の観察会は、運営メンバーがいただきますの森の説明を行い、ひじきさんが虫捕りについての説明をし、畑で虫捕り、虫を調べたり観察後、ミツバチ見守り隊メンバーがミツバチの見学案内をしました。

虫に詳しいひじきさんは、どのようにしたら虫を捕まえられるか、どこに潜んでいたり、どんなものを使うとよいか、図鑑で調べる際のポイント、観察方法等詳しく説明して下さいました。

虫捕りの際には大人も子どもも楽しみながら虫を捕まえました。時期的にバッタが多かったのですが、大きさもとても大きく立派なバッタがたくさんいました。他にもカマキリ、ウンモンクチバ、フタトリアオイガ等の芋虫やカメムシ、コオロギ、モンシロチョウ、アゲバチョウ等様々な虫が見つかりました。

たくさんの虫が生きているいただきますの森は豊かな生態系の一部になってくれている気がしました。

ミツバチの見学の際にはミツバチクイズを実施して、子どもたちも楽しみました。

観察に当たっては面布を被って頂き、ミツバチを刺激しないように声の大きさや静かに動くことを伝えました。

予定時間をオーバーしてしまいましたが、みんなで楽しめる会になったと思います。

また今後につなげていければと思います。

ありがとうございました。



(文責：いただきますの森 プロジェクト 前川)